

都道府県名

宮城県

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	七ヶ浜町立七ヶ浜中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4	2	13	22
生徒数	115	124	125	2	366	

研究の概要

## 1. 研究主題

基礎・基本の定着を図るための指導の工夫

## 2. 研究内容と方法

## (1) 実施学年・教科

1～3年 数学・英語

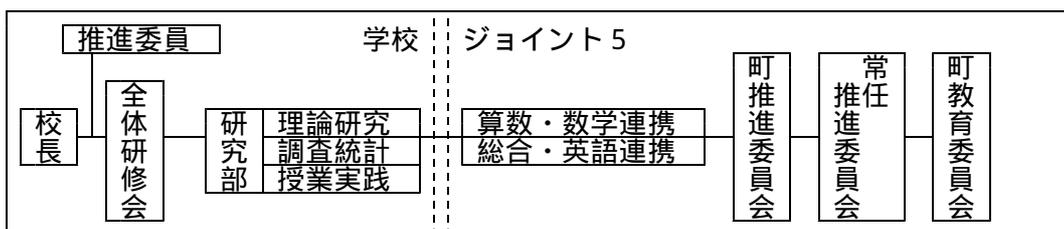
- ・生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。
- ・町内の小・中学校が連携した取り組み（七ヶ浜ジョイント5）の重点連携教科であるため。

## (2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 数学科における，個に応じた指導形態の工夫 研究の見通し 小さなスパンで評価を行い，個の学習に応じたきめ細やかな指導及び学習形態の工夫を行うことにより，基礎・基本の定着が図れるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画，評価計画の見直し</li> <li>次単位の評価計画作成</li> <li>小学校教員との合同会議による指導計画の見直し（1学年）</li> <li>・学習形態の工夫</li> <li>少人数指導・TT・習熟度別指導</li> <li>小学校教員とのTT（1学年）</li> <li>・学ぶ機会の増加</li> <li>放課後学習（7Time）の実施</li> <li>選択数学の生徒の小学校での授業補助及び小学校教諭による事前指導</li> <li>・学力検査・意識調査による実態把握</li> <li>教研式観点別到達度学力検査（CRT）の実施による学力の把握</li> <li>小学校教員との合同会議による，学習についての実態把握</li> <li>・理論研究</li> <li>小学校教員との合同会議における指導方法・指導内容の検討</li> </ul>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 数学科・英語科における，基礎・基本の定着を図るための指導の工夫 研究の見通し 小さなスパンで評価を行い，個の学習に応じたきめ細やかな指導及び学習形態の工夫を行うことにより，基礎・基本の定着が図れるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>平成15年度の内容に加え，英語科における小中連携での指導計画の見直し，指導形態の工夫・生徒の実態把握の実施</p>
--------	---

### (3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

小学校教員との合同会議：

小・中9年間の下位目標の分析を行ったことにより、重点指導内容・指導方法が明確になり、指導のウエイトが置かれていない事項の把握ができた。その結果、生徒の実態のより深い把握ができ、指導計画の見直しを図ることができた。また、指導と評価の一体化に活かすことができた。

小中TT合同授業：

小中で授業研究を実施し、互いに参観し検討会を行ったり、合同授業の計画段階から小・中の少人数指導の実態・生徒の実態を把握し合うことにより、指導の連続性、スモールステップの必要性を確認し合うことができた。また、問題解決のための指導方法を学び合うことができた。

中学生の小学校授業助手：

中学3年生を小学校の授業助手に位置付け（選択数学）、生徒と児童の交流を図ることにより、自らの学びを確認するきっかけになったことに加え、学びの意欲を喚起することができた。

1学年標準学力検査（CRT）の平成15年4月・平成16年1月の結果：

全国と学年の観点別集計表によると、「関心・意欲・態度」「数学的な表現・処理」においては、学年の傾向は全国平均との比較において2回の検査の差はなかった。「数学的な見方や考え方」「数量、図形についての知識・理解」では、第1回においてはC評定の割合が多く、全国平均を下回っていたが、第2回においては全国平均に近づいた。また、第1回においてはA評定は全国平均を下回っていたものの、第2回においては全国平均に近づいた。

以上のことから、9年間の見通しを持ち、基礎学力保障のために必要な知識・概念に対して小・中学校で共通認識を持って指導にあたることができ、指導の連続性を図ることができるようになってきた。

また、次単位の評価及びそれを受けての少人数指導、TTの指導、及び7Timeの実施により、生徒の基礎学力の定着を図ることができた。

#### 2. 今後の課題

各種実践を積み上げることにより、仮説の検証を図る。  
9年間を見通した指導計画の見直しを進める。  
数学と同様に、英語の連携実践を進める。

#### 学力把握のための学校としての取組

基礎学力把握のための、標準学力検査（CRT）を3学期に実施し、変容を捉える。  
意識調査により、学習に対する意識の変容をみる。

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研究成果普及のためのHP作成  
研究成果普及のためのリーフレット作成

## 七ヶ浜ジョイント5について

七ヶ浜町内小学校3校・中学校2校で、校種間の連携を密にし、小・中学校における学力の実態を把握し、9年間のスパンで一貫した指導方法等の改善を図ることにより、児童・生徒の確かな学力向上を目指すことを目的とし、算数・数学、総合・英語において連携事業を展開している。

[ 9年間を見通した指導の在り方の共通理解のため ]

- ・9年間の指導計画(カリキュラム)の検討・作成
- ・学力向上の具体的提言(実践研究)...習熟度別学習・少人数指導 等

[ 教員の指導力の向上 ]

- ・教育研究会事業(町教研一斉授業研究・教科領域研究)
- ・研修会への参加
- ・全体研修会(講演・講話会等) 等

詳しくは、七ヶ浜ジョイント5HP : <http://www.sitigahama.myswan.ne.jp/>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】      ■ 15年度からの新規校      □ 14年度からの継続校
- 【学校規模】              □ 3学級以下                      □ 4～6学級  
                                 □ 7～9学級                        ■ 10～12学級  
                                 □ 13～15学級                      □ 16学級以上
- 【指導体制】              ■ 少人数指導                      ■ T・Tによる指導  
                                 □ その他
- 【研究教科】              □ 国語                      □ 社会                      ■ 数学                      □ 理科  
                                 ■ 外国語                      □ 音楽                      □ 美術                      □ 技術・家庭  
                                 □ 保健体育                      □ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】      ■ 有                      □ 無